

ご挨拶



桂坂学区自治連合会会長
菊池 潤治

このたび桂坂学区ならびに桂坂小学校の創立10周年を迎えるにあたり記念誌を発刊することとなりました。

榊本京都市長、中野西京区長、成瀬洛西支所長様及び豊田西京区自治連合会長様からご丁寧なご祝辞を賜りました外、桂坂学区にご理解のある方々から玉章をいただき心から感謝申し上げます。

さて、桂坂学区は1989（平成元）年8月、かえで、しらかば、さつき自治会により桂坂学区自治連合会として発足いたしました。当時の人口は3033名、872世帯で、初代の会長には湯浅忍様が就任され近隣の大枝、新林学区の方々には大変お世話になったそうです。また、役員も並々ならぬご苦勞を重ねられ、今日の桂坂学区の基礎を築いていただきましたことに深甚の敬意を表させていただきます。

桂坂の現状を申しますと、桂坂は西京区の北西部に位置し、東西2キロ、南北0.8キロ、総面積163ヘクタールの丘陵地にあり、本年1月現在、人口9694名、2764世帯、13自治会によって桂坂学区自治連合会が構成されています。

各種団体は、社会福祉協議会をはじめ体育振興会、地域女性会等15団体が西京区内すべての団体の支部として設置され、積極的な活動を展開しています。

自治連合会の運営につきましては、

1. 自由な雰囲気が漂うまち・桂坂
2. 便利で住みよいまち・桂坂
3. 安全、安心のまち・桂坂

を基本指針として活動してまいりました。

緑の空間を大切にする桂坂では、個人の家庭を尊重し、必要以上の干渉をしないスマートな都市型自治会が望まれますが、阪神大震災のような「いざ」の時には直ちに結束し、これに対応する体制が必要かと存じます。

次に、開発途上にある桂坂では、交通アクセスの問題及び日常生活をする上では、歩いて買物ができる利便性のあるまちづくりが必要です。スーパーイズミヤの早期開店を願うと共に、地下鉄は是非とも桂坂に誘致したいものと考えています。

安全・安心のまちづくりは、桂警察署大枝交番をはじめ、桂坂自主防災会、消防分団等が設置され、住民の生命、身体、財産の保護や、防災について活動していただき、その体制も年々充実されてまいりました。

各種行事の運営につきましては、細密な計画のもと、これを着実に

実行し、一つ一つ実績を積み重ねていくことが学区民との信頼に繋がるものと思っています。

自治連合会としては、何をどのようにしていくのか、これを先ず学区民にお知らせすることが、何より肝要と考え、概ね月1回、編集部の発行する広報紙『桂坂』を通じて行事の結果、将来の展望、時の話題等をお届けしております。今では、そのきめ細かな内容が人気を呼び、次号が待たれる広報紙となりました。

これらのおかげで各自治会の動きも随分活発となり、桂坂の統一クーリナーには毎回1000名を越す住民の参加があり、統一夏祭りは、各自治会がそれぞれの趣向を凝らして楽しく競演するなど桂坂名物の一つとなりました。

また、記念事業の一つである桂坂自治会館・消防器具庫の建設に際しては、株式会社横綱、京都住宅生協をはじめ桂坂に関連のある企業各位から多大のご寄付を賜った外、住民の90%の方に賛同いただき、更に先般、20才以上の住民のうち、85%の方の署名をいただいた「地下鉄東西線の西伸ルートに桂坂駅を設置する請願」が市会で採決される等、そのパワーを心強く思っています。

10年が経過し、21世紀への一歩を踏み出そうとしています。この機会にしっかりとしたまちの基盤づくりをしなければと考えます。

その1つは、子どもたちの健全育成であります。未来に羽ばたく子どもたちの明るい人生のため、学校、PTAとの協力関係を一層深め地域ぐるみで子どもを育てていく教育環境の風土づくりが必要です。学区民の英知を結集し、子どもたちと正面に向き合って、たくましく思いやりのある子どもを育成しなければなりません。そのような趣旨から桂坂教育後援会を設立させていただきました。

今一つは、共生の福祉のまちづくりです。

桂坂には特別養護老人ホーム・沓掛寮をはじめ多くの福祉施設があります。高齢者や障害者との日常の交わりが、ごく自然のうちに行われる共生の福祉のまちづくりが望まれます。「人にやさしい桂坂」が更に定着しますよう一層のご支援をお願い申し上げます。

終わりに、このほど京都大学の新キャンパスを御陵坂に設置することが決まり、国際日本文化研究センターと共に世界に誇れる学術研究の環境が整います。私たちも、このアカデミックな雰囲気を十分味わいながら、桂坂らしい文化の香り高さ華やぎと、「住んでよかった桂坂」を実感できる、活力のあるまちを築こうではありませんか。

今後とも皆様方のお力添えを心からお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

祝 辞



京都市長

高橋 謙二

魅力あふれる美しいまち 桂坂学区の新たな門出を祝して

桂坂学区創立10周年記念誌が、桂坂をこよなく愛する多くの皆様方の御努力により発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

また、皆様方には、日頃から京都市政、西京区政の推進に格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここ桂坂は、西山連峰と松尾の山々に囲まれ、南北には小畑川の清流が流れる緑豊かな美しい自然にあふれたまちであるとともに、桂坂野鳥園をはじめ、古墳公園、国際日本文化研究センター、洛西ふれあいの里などを有し、自然・歴史・文化が、一体となって豊かな環境を創り上げているまちであります。

また、年々人口増加が続く西京区において、一番新しい躍動感に満ちたまちであり、自治の精神とエネルギーが力強く息づく、魅力あふれる美しいまちとして発展を遂げて参りました。

これもひとえに、桂坂学区の発展を真に願う学区民の皆様方の多大なる御努力と情熱によるものであり、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、今年、20世紀を締めくくり、新たなミレニアム（千年紀）を迎える大切な年であり、「地方の時代」の幕開けの年であります。

私は、市民の皆様とのパートナーシップの下、暮らしに安らぎ、まちに華やぎ、そして信頼を基本とする光り輝くまち「世界の京都」の実現に向けて、市民の皆様にお約束致しました160項目の公約すべてを何としても実行し、千年を超える悠久の歴史と文化を誇る京都を世界中の都市に先駆けて、新しい千年の都「千年新都」として参る所存でありますので、今後とも、皆様方のより一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、記念すべき創立10周年を契機として、桂坂学区が、菊池自治連合会長をはじめとする役員の皆様方を中心に更に結束され、益々飛躍、発展されますとともに、地域住民の皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り致しまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



西京区長
中野 代志男

桂坂学区誕生10周年を迎え、心からお祝い申し上げます。

平素は京都市政並びに西京区政のために格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

桂坂学区は平成元年の桂坂小学校開校と同時に誕生し、以来10年、著しい発展を遂げてられました。大枝の丘陵地帯に、桂坂ニュータウンの造成が始まって間もなく誕生した桂坂学区は、西京区内では最も新しい学区ですが、現在では人口9000人を超える大きなまちとなりました。学区内は整然と区画された住宅地でありながら、雄大な自然に囲まれ、ひとと自然とが見事に共生した美しい町並みとなっています。また、京都大学の新キャンパスの予定地として、これからの発展が大いに期待されるまちでもあります。

学区誕生当時を振り返ってみますと、山林を切りひらいて造られた新しいまちという性格上、何もない所からのスタートであり、学区民の皆様におかれましては、試行錯誤を重ねながら、大変なご苦勞をされたことと思います。そのような時期を乗り越えられ、今日の隆盛が見られますのも、偏に自治連合会を始めとする各種団体の役員の皆様方が、学区民の皆様方と一致協力して、地域の発展のために努力された賜であり、そのご尽力に深く敬意を表します。

私どもといたしましても、桂坂学区の素晴らしい住環境を守り、さらに発展させていくために、より一層の努力をしまいたいと思います。

さて、京都市ではすべての市民がいきいきとくらすよう「もっと元気に・京都アクションプラン」を平成8年に策定し、各種の事業を実施してまいりましたが、昨年はしめくくりの年として、その総仕上げに力を注いでまいりました。

また、アクションプランの後を引き継ぎ、京都市の更なる飛躍を目指す「京都市基本構想」を昨年策定いたしました。

この構想は、わたしたち京都市民が望む2025年までの市民のくらしとまちづくりを市民の視点から描いたものです。

この構想の実現にあたりましては皆様方のご参加が不可欠でございますので、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、桂坂学区が今後ますます発展されることを祈念いたしますとともに、学区民の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



西京区洛西支所長
成瀬 英夫

桂坂学区創立10周年をお祝いで

桂坂学区の皆様、学区創立10年を迎えられ、誠におめでとうございます。皆様方と共にこの記念すべき佳節を迎えることができましたことは、この上ない喜びであり、心からお祝いを申し上げます。

また、平素は、京都市政並びに西京区政の発展に格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

桂坂学区は、西京区内で最も新しい学区であります。学区創設以来、一斉清掃や各自治会の趣向をこらした統一夏まつりの実施、多彩な文化スポーツ活動、地域福祉活動などに積極的に取り組まれるとともに、自治会館・消防器具庫の建設や消防分団の創設など、学区としての自治機能の拡充と住民の交流促進に力を注がれ、現在では、緑豊かな美しい自然環境に抱かれた、地域活動の盛んな魅力あふれる学区に大きく発展を遂げられています。これも、自治連合会、各自治会、各種団体の歴代役員の方々をはじめ、住民の皆様方一人一人の地域に対する熱い思いとご努力の賜であり、心からの感謝と深い敬意を表する次第であります。

これからも学区人口が年々増加し、住民エネルギーも増大してまいります。皆様方の幅広く、意欲的な活動は、より一層活力に満ちた魅力あふれる地域社会をつくりあげていく上で何よりも大切なものであり、21世紀の桂坂学区のさらなる発展の大きな礎になるものと確信しています。

また、少子化が進行する中で、子育て支援や教育が重要な課題になってきていますが、学区を挙げて取り組んでおられます「子供たちの教育環境の充実と健全育成」への支援は、これからの京都を担う人づくりの原点となる活動であると考えており、子供たちの健やかな成長を願う取組の輪がさらに広がりますとともに、桂坂学区が地域の子供たちすべてが誇り得る故郷となりますよう念願しております。

洛西支所におきましても、皆様方との揺るぎないパートナーシップにより、明るい希望と魅力あふれる桂坂学区を築いていくため全力を挙げて取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、桂坂学区が、この輝かしい創立10周年を契機として、今後ますます発展されますよう心からご祈念申し上げ、併せて住民の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



西京自治連合会会長
豊田 英嗣

桂坂学区創立10周年おめでとうございます。また、桂坂小学校も10周年を迎えられましたこと、併せて心からお祝いとお慶びを申し上げます。

平素は、西京区自治連合会の自治活動推進に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

桂坂学区は、平成に年号が変わりました当時、大枝学区より分離独立されました。発足時は人口2,500人程度でしたが、現在9,650人の大きい学区であります。

発足時「エライ所に住宅が出来たなァ」と近隣の人々は噂をしておりましたが、今や本当にすばらしい学区になり、人々の羨望の的であります。これも菊池会長を中心に役員一丸となり、住民の皆さまのご協力の賜で、唯々敬服するのみです。

学区の女性会、消防団の結成、自治会館兼消防器具庫の建設等、実現されましたことは「立派」の一語であり、先ず女性との合議、学区の防災、そして会議場を整えられたことは「見事」という言葉ピッタリです。

桂坂学区の地域は昔、谷ヶ堂、峰ヶ堂に位置するところで佛教文化の中心地でありましたが、当時の幕府の命により伽藍や佛像、地堂、お地藏さん等ブツ壊され、佛像は西京区内近在の寺々へ安置されております。

また、古墳公園があります。私どもは小さい頃、お正月用の「ウラジロ」別名「ホナガ」ともいいますが、採りに入り、アノ洞窟で遊んでおりました。酒吞童子がおったとか、夢は膨らみます。

このような文化豊かな環境のところだけに、町名に樹木の名をつけられたのもムベなるかなと、感心しておるのでございます。

ご存知のように、西京区には多くの問題があります。

一番に国道9号線であります。これは京都市東西道路の一大幹線でありまして、ラッシュ時の渋滞は相当なもので、実に危険極まりない状態であります。

京都市では地下鉄のイベントが実施されておりますが、洛西ニュータウン建設時から地下鉄を走らせるといっておられたのに、南北や東ばかりであります。やっとな調査費が付きましたが、今後とも建設促進に西京区一丸となり運動を続けて行こうではありませんか。宜しくご協力をお願いいたします。

今後は、都市化が進み、自治活動の分野も順次増大していくと思えます。菊池会長を中心に自治会、各団体はじめ学区の皆さんが結束され、また次代を担う子どもたちの育成にも気を配られ、学区が益々発展しますようご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。